

図をDSS, OAと関連づけてえがき, FAの将来を展望する。

## ●OR/MSとシステムマネジメント●

### ●第10回

日時：2月22日 13:30~16:30

場所：東京工業大学システム科学専攻会議室

出席者：18名

テーマ：計画策定の行動科学…1つの手がかり—Implementation

講師：友安一夫（日本大学）

過去3回の文献講読で検討してきたことのまとめとして、実施問題と人間行動の関係が論じられた。特に計画

策定の場合、計画書そのものに加えて計画実施における人間行動の研究方向に対する示唆が与えられた。

### ●第11回

日時：3月15日 13:30~16:30

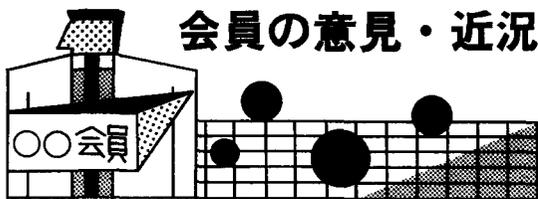
場所：東京工業大学システム科学専攻会議室

出席者：17名

テーマ：銀行オンラインの実施戦略

講師：根本忠明（青山学院大学）

最近の銀行のオンラインの実情、および銀行をとりまく諸環境の変動について発表がなされ、さらに今後の銀行の経営戦略が情報技術にどのような影響を与えるか、逆に情報技術が銀行の経営戦略をどのように方向づけるかなどについて議論がかわされた。



東京工業大学工学部経営工学科 白川 浩

高度情報化社会をむかえて、経営資源としての情報の役割が、これまで以上に重要になりつつあることは、すでに多くの方々によって指摘されている。しかし、それでは経営上役に立つ情報とはどのようにして得られるのかと考えると、考えこんでしまうことが多い。

今日まで、ORの理論として数多くの解析手法が開発され、重要な知的資産として活用されている。しかし、その適用の多くが、それぞれの個々の理論の立場からのものであり、経営システム全体をとらえた上での利用方法（方法論）については、不十分であるように思う。もちろん、個々の部分的改善は、やがて全体的改善をもたらす場合が多いであろう。しかし、今日のように、経営環境の変化のはげしい時代においては、経営システム全体が、戦略的に適応行動をとることが要求されている。

その意味で、OR理論が、経営システムの全体的な構造把握をした上で、経営上の戦略的方法論として利用で

きるように、一層充実されることを望みたいと思います。

東京都立科学技術大学 小田中 敏 男

この4月から本学もやっと4年制工科大学に昇格することとなり、上のような名前がつけました。よろしくお願ひ申し上げます。ORは管理工学科で講義され、新任の山崎源治君が担当することとなります。学科につきましてはいずれくわしい紹介があるでしょう。

新大学設立を記念して、私もこれまでのささやかな研究成果をまとめ、“Optimal Inventory Processes”として、英文で出版いたしました。本書は主として動的計画法の立場から最適在庫過程に対し、解析的数値的考察を加えたもので、経営への応用を心がけております。特に主題であります在庫に関する情報と決定との関係は、在庫調査と発注政策に関して適切な精度設計を示唆すると思ひます。練習問題をつけました。ORおよび関連分野の学生、教育者、技術者に多大の便宜を与えると信じます。

内容は、主要目次：緒言／決定論理在庫問題／量の近似／時間の近似／最小—最大解／ベイズ解／期間に関する平均費用／集中管理／確率基準／情報と決定／索引、となっています。

本書に関するお問合せは、K.K.カタクラ・リブリ (Tel.03(815)1800) へどうぞ。

## 会合記録

( ) 内は出席者人数  
庶務幹事会 2月6日(木)(5)

編集委員会(OR誌)

2月5日(水)(7)

表彰委員会

2月10日(月)(7)

研究部会主査会議

2月25日(火)(13)

研究小委員会

3月4日(火)(6)

編集委員会(OR誌)

3月5日(水)(12)

普及小委員会

3月6日(木)(3)